

〔輸送コストの削減便益〕

鳥取港で取扱う貨物の陸上輸送費用の削減額を算出する。Without時の代替港は境港とし、取扱貨物量は将来推計貨物量となる554千トン/年とする。

プロジェクト実施により、大型岸壁が利用可能となり陸上輸送費用が年間20.9億円の削減が可能となる。

〔陸上輸送費用〕

項 目	With時	Without時
	鳥取港 荷主	境港 荷主
貨物取扱量(千トン/年)	554	554
輸送距離(往復・km)	15	208
輸送費用(円/台)	15,140	52,920
使用台数(台)	55,400	55,400
陸上輸送費用(千円/年)	838,756	2,931,768
陸上輸送費用削減便益(計)(千円/年)	2,093,012	

〔海難の減少便益〕

鳥取港に入出港する小型貨物船の海難事故等による損失額の削減額を算出する。

プロジェクト実施により、年間14.9億円の削減が可能となる。

〔海難事故等による損失費用〕

項 目	With時	Without時
	鳥取港	鳥取港
避難船隻数(隻/年)	0	11.1
1船当たり損失額(千円/隻)	134,300	134,300
損失額(千円/年)	0	1,490,730
海難事故等による損失の回避便益(千円/年)	1,490,730	